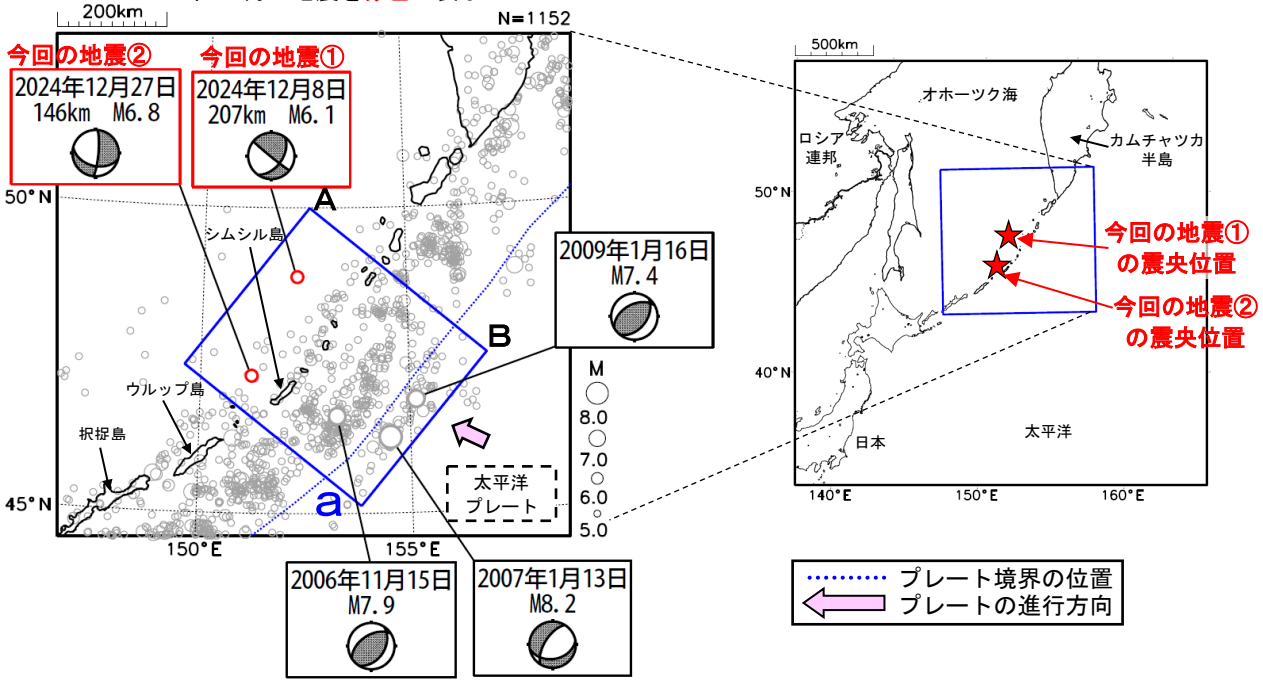
12 月８日、27 日　千島列島の地震

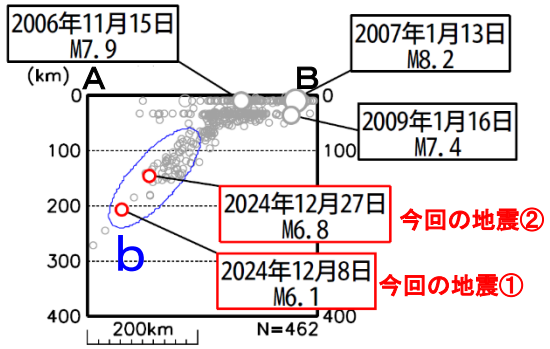
2024 年 12 月 8 日 19 時 25 分（日本時間、以下同じ）に千島列島の深さ 207km（米国地質調査所（以下、USGS）による）で M6.1 の地震（日本国内で観測した最大の揺れは震度１、今回の地震①）が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ型である。また、同月 27 日 21 時 47 分には千島列島の深さ 146km（USGS による）で M6.8 の地震（日本国内で観測した最大の揺れは震度２、今回の地震②）が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。これらの地震は太平洋プレート内部で発生した。

1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域ｂ）では、M6.0 程度の地震が時々発生している。今回の地震の南東に 250km 程度離れた浅い場所では、2006 年 11 月 15 日に発生した M7.9 の地震（日本国内で観測した最大の揺れは震度２）が発生し、三宅島坪田で 84cm など、北海道日本海沿岸北部から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島にかけての広い範囲で津波を観測した。その約２か月後の 2007 年１月 13 日に発生した千島列島東方（シムシル島東方沖）の地震（M8.2、日本国内で観測した最大の揺れは震度３）では、三宅島坪田で 43cm など、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島にかけての広い範囲で津波を観測した。

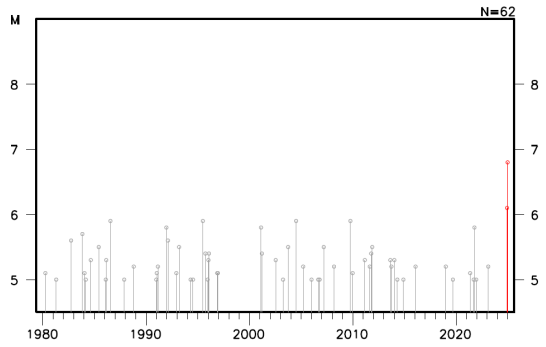
震央分布図
（1980 年１月１日～2024 年 12 月 31 日、
深さ０～400km、M≧5.0）
2024 年 12 月の地震を赤色で表示



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



領域ｂ内のM－Ｔ図



断面図で震源が線状分布しているのは、震源の深さを 10km または 33km に固定して、震源を決定しているためである。

※震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2025 年１月６日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構、M は気象庁による。プレート境界の位置は Bird(2003)*1 より引用。

*1 参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.